

本年度の結果

	国語A	国語B
阿蘇市	73	56
全国	76.1	61.2

国語A	話す・聞く	書く	読む	言語
阿蘇市	72.1	71.6	68.2	74.5
全国	75.2	73.9	76.7	76.5

  

国語B	関心意欲態度	話す聞く	書く	読む
阿蘇市	49.6	72.6	30.3	47.7
全国	50.3	76.6	31.3	53.5

本年度の主な結果について

- 「文脈に即して漢字を正しく読むこと」や「適切な語句を選択する」は、全国を上回り、定着している。
- 話の論理的な構成や展開などに注意して聞いたり、必要に応じて質問したりすることはできている。
- 「書くこと」については、「目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く」「相手に的確に伝わるようにあらすじを捉えて書く」ことに課題がある。
- 「読むこと」については、情報を整理して内容を的確に捉えることに課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 書こうとする事柄のまとめ方や順序を考えて文章を構成する(A2一)
- 慣用句の意味を理解する(A8四1)
- 話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する(B2二)
- 漢字を読む(模型:A8二1)、(凍る:A8二2)、(磨く:A8二3)

【課題】

話すこと・聞くこと

- 全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す(B2三)

書くこと

- 伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く(A2二)
- 書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する(A4一)
- 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く(B1三)

読むこと

- 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える(A5二)
- 文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える(B1一)
- 文章の構成や展開について自分の考えをもつ(B1二)

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- 漢字を書く(彼はせきを切ったように話し始めた)(A8三エ)
- 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切に文を書く(A8四2)
- 相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く(B3三)

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心をもつ生徒が前年度より増えた。
- 話し合う活動で自分の考えを深めたり広げたりしている生徒が増えている。

【課題】

- 国語A・Bとも解答時間は十分でなかったと回答した生徒が前年度より高い。
- 意見を発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している生徒が年々減少している。
- 新聞は読んでいる生徒は、小学校の児童とは反対に、年々減少している。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- 1単位時間の授業プランを基に、育成を目指す資質・能力を明らかにし、その資質・能力をどこで、どのようにして付けていくかを明記して授業を行い、振り返りをする。
- 「書くこと」の指導改善については、文章を書く際に、目的や意図に応じて書こうとする事柄のまとめ方や順序を考えて文章を構成するようにし、事実や事柄、意見や心情が相手に伝わるように工夫して書くよう指導する。
- 「読むこと」の指導改善については、文章を読み、内容を的確に捉える力を身に付けるために、目的や意図に応じて、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見などを読み分けて内容を把握するように指導する。

【日常的な取組】

- 考えを表現する際は考えの根拠と理由も書かせたり、辞書で調べる習慣を身に付けたりするとともに、読書や新聞を読む習慣を養ったりする。速音読にも積極的に取り組む。

【家庭学習等】

- 授業内容に応じた課題を家庭学習で出し、予習・復習の内容を工夫する。